town topics

まちのわだい

地域への貢献、長年の善行活動を讃え
北本さん・佐野さん善行会表彰

12月8日、日本善行会より社会貢献活動を地道に続けてきた北本利夫さんと佐野繁子さんに表彰状が送られました。

北本さんは長年にわたり、自治会長を務めながら地域活動に尽力。また、消防団員として49年間、地域防災に貢献。特に10年間は消防団長として団員を統率した功績が認められたものです。「受賞は皆さんの協力のおかげです。今後も自治会活動を通じお役にたっていきたいです」と話してくれました。

佐野さんはJA婦人部役員や自治会連合会婦人部会長、美幌地区防犯協会理事などを歴任。地域活動ではフラワーマスターを取得し、花壇づくりの指導と支援活動に努めた功績が認められたものです。「受賞は私を支えてくれた皆さんと家族のおかげです。今は感謝の気持ちでいっぱいです」と話してくれました。

佐野　繁子さん（上里）

北本　利夫さん（緑町）

体験を通して社会のマナーを学ぶ
津別中学生が職場体験を実施

12月12日、津別中学校の2年生を対象に消防署、保育所、青葉幼稚園、教育委員会、ガソリンスタンドなど町内12事業所で職場体験が行われました。

毎年行われている職場体験は、体験活動を通して職業への関心を高めながら社会的なマナーを学ぶことを目的に去年までは北見市内で実施されていました。

この日、9人が参加した消防署では施設見学、応急手当の実技、放水体験、消防車試乗など体験をしました。また、津別保育所では園児たちと一緒にお遊戯やゲームなどを楽しんでいました。

消防署を選んだ村田陵輔君は「テレビで救出する場面が格好良かったので選びました。心臓マッサージは少し難しかったです」と感想を話してくれました。

津別保育所の子どもたちとゲームを楽しみました

津別消防署で9人が救命処置を学びました

リコーダーコンテストで金賞受賞
活汲小中学校が全道大会出場

11月25日、北見市で開催された北見地区リコーダーコンテストで活汲小中学校から参加した小学生が三重奏・五重奏・合奏の2部門で審査員から高評価を受け、1月10日、札幌市で開催される全道大会に出場することになりました。今年の小学生は3年生から6年生までの18人。中学生は小学生から続けている11人です。

小中学校代表の武井諒太君（小学6年）と山田羽亜奈さん（中学3年）は「全道大会でも楽しい演奏がしたいです」「全国大会での金賞を目指して全道大会を頑張りたいです」とそれぞれ抱負を話してくれました。

共同生活で貴重な体験
津別小学生3人が通学合宿

12月4日から6日までの3日間、津別小学校の4年生が児童館に宿泊しながら学校に通う通学合宿が行われました。

初日、児童館に集合した3人は夕食メニューの野菜のかき揚げとおにぎりの材料を用意し、料理を開始しました。子どもたちはぎこちない手つきでしたが、ごぼう、人参、玉ねぎの皮をむき、食べやすいように切りました。途中、指を負傷するハプニングもありましたが、おいしいかき揚げが出来上がり、そばにのせて食べました。

2日目には木工教室が行われ、教育相談員の原田英機さんの指導でバードコールを作りました。

内田玲子さんが教育問題を語る
100人が参加した家庭教育講演会

12月1日、中央公民館で家庭教育講演会が開催され、講師の家庭教育カウンセラー　内田玲子さんが「家庭・学校・地域社会　それぞれの果たす役割～子どもからのサインの受け止め方～」をテーマに講演しました。

全国各地で三千回以上の講演活動をしている内田さんは「子どもに生きる力をつけるのが親の仕事。その練習場が家庭である」「子どもからのメッセージをどう受け入れるのかが大切」と約2時間にわたり話してくれました。

この日会場を訪れた約100人のPTA関係者は内田さんの話を熱心に聞き入っていました

おいしいチーズができました
本岐保育所の子どもたちが挑戦！

12月12日、町民会館の調理室で本岐保育所のこどもたちが、チーズづくりを体験しました。チーズづくりは地元のおいしい食材を味わおうと昨年から行われています。

この日はチーズ工房の清野映子さん（東岡）が前日に準備した物を子どもたちが細長くこねる作業を手伝いました。その後、塩水で味を調え、食べやすいように切って完成しました。

子どもたちは出来上がったチーズをお母さんと笑顔いっぱいで食べていました。

清野さんは「チーズは牛乳が飲めなくてもカルシウムが吸収できるのでたくさん食べてほしいです」と話してくれました。

多くの町民が芸術の秋を楽しむ
第26回町民文化祭が開催

趣味や文化活動に取り組む人たちがその成果を披露する「町民文化祭」が中央公民館の講堂で約1ヵ月間にわたって開催されました。

11月1日から18日までの絵画展を皮切りに25日には舞台発表、12月6日から8日には書道やアートフラワーなどの総合展示が行われました。

特に25日に行われた舞台発表には多くの町民が会場を訪れ、この日のために練習を積み重ねてきた津別中学校の吹奏楽や大正琴、舞踊、山鳴太鼓保存会の迫力ある演奏などに大きな拍手を送っていました。

石うすできな粉作りに挑戦
小学生がミズナラ倶楽部と交流

11月30日、津別小学校で「ミズナラ倶楽部」のおばあちゃんたちと小学4年生が昔の生活用具を使いながら楽しい交流を深めました。

この日は児童たちが学校菜園で収穫した大豆を持参し、郷土資料室の石うすを使ってきな粉づくりに挑戦です。

児童たちは石うすの使い方を教わり、体験した後は自分たちで挽いたきな粉と市販のきな粉を食べ比べていました。お代わりをする児童がいるなど挽きたての味は好評でした。

指導をした佐藤シゲさんは「昔を思い浮かべながら回しました。今日は楽しかったです。」と話してくれました。